

藤和シティスクエア練馬月極駐車場ご利用について

本駐車場における入出庫時は下記操作手順にて行って下さい。

【入庫時】

- ①操作盤にある「安全確認」ボタンを押して下さい。
- ②操作盤にある「暗証」ボタンを押し、暗証番号4ケタを押して下さい。
- ③「スタート」ボタンを押すと、入庫できる状態になります。
- ④車両サイドを確認し、ゆっくり入庫した後、
必ず「終了／扉閉ボタン」を押して、扉をしめてください。

【出庫時】

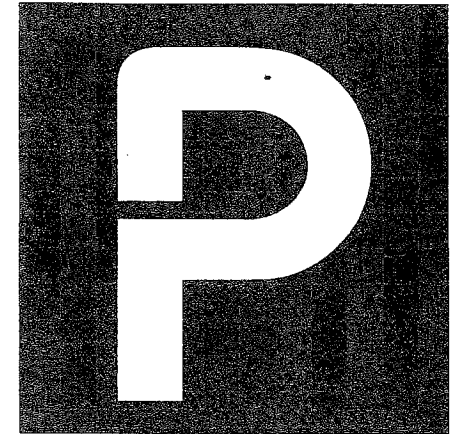
- ①操作盤にある「安全確認」ボタンを押して下さい。
- ②操作盤にある「暗証」ボタンを押し、暗証番号4ケタを押して下さい。
- ③「スタート」ボタンを押すと、出庫できる状態になります。
- ④車両サイドを確認し、ゆっくり出庫した後、
必ず「終了／扉閉ボタン」を押して、扉をしめてください。

【緊急連絡先】

故障等機械トラブルの際は下記連絡先へお問い合わせください。

日本駐車場メンテナンス株式会社 0120-890-989

ShinMaywa



ShinMaywa Automatic Parking System

立体駐車設備

ロータリパーク
取扱説明書 (管理者様用)

新明和工業株式会社

北海道営業所	〒063 札幌市西区二十四軒一丁目2-39	☎(011)641-0981	Fax (011)611-6616
東北営業所	〒983 仙台市宮城野区扇町2丁目3-16	☎(022)237-7651	Fax(022)238-3849
東京営業所	〒160 東京都千代田区大手町2丁目6-2(日本ビル)	☎(03)3245-6631	Fax(03)3245-6688
名古屋営業所	〒460 名古屋市中区大須1丁目7-11	☎(052)231-2201	Fax (052)231-1480
関西本部総務課	〒532 大阪市淀川区宮原3丁目5-24(新大阪第一生命ビル)	☎(06)399-0086	Fax (06)399-0087
四国営業所	〒761-01 高松市堀越西町字白石1979	☎(0878)41-6106	Fax(0878)43-9740
中国営業所	〒734 広島市南区東本町2丁目21-26	☎(082)282-7176	Fax(082)281-2943
九州営業所	〒812 福岡市博多区野1丁目9-43	☎(092)413-5461	Fax(092)471-7224

S&A safety and amenity
安全・快適が基本です

はじめに


藤和シティスクエア練馬御納

機種名 …… ニューロータリパーク
形式機種 …… RWJ-23/24TC
操作方式 …… テンキー (暗証番号方式)
(フリーロケーション)

このたびは、新明和立体駐車設備をご採用いただきまして、まことにありがとうございます。

新明和立体駐車設備は、「Safety & Amenity (セイフティ・アンド・アメニティ) = 安全さと快適さ」を基本理念として設計・製作されておりますが、操作方法を誤ると、思わぬトラブルを招く恐れがございます。この設備をいっそう「安全」かつ「快適」にご利用いただくため、オーナー様および運転管理者、ならびにテナントご利用者の皆様におかれましては、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、説明書の記載方法にしたがって安全運転を心がけてくださるようお願いいたします。

この取扱説明書の使い方

- 初めて設備をお使いになる前には、必ずこの説明書の全文に目を通しておください。
- 日常の運転につきましては、くりかえし、この説明書の「2. 運転をはじめる前に」「3. 入庫するとき」「4. 運転をするとき」「5. 出庫するとき」「6. 運転を終了するとき」を見てご確認ください。
-  説明書の中で、左のマークがついた説明はとくに「安全」に関する重要事項をあらわしています。
- 日常のご利用につきまして、不明の点がありましたら、この説明書の4・5ページ目の「こんなとき・このページを！」を開いて、お知りになりたい事項の記載ページを索引してください。
- 万一、何らかの異常事態が発生したときは、この説明書「7. 事故や災害のとき」「8. 故障のとき」をご覧ください。応急対応のうえで、弊社立駐保守会社、新明和エンジニアリング株式会社(SMEC)の最寄りの営業所にご連絡ください。
- この取扱説明書は、必ず、わかりやすい所に常備してください。

目次

こんなとき・このページを！……………4

1 各部の名称とはたらき……………6

設備のすがた……………6
操作盤……………7
駐車室内……………9
案内灯……………10
安全装置……………12
消火設備……………14
旋回装置……………15
ターンテーブル……………15

2 運転をはじめる前に……………16

設備を運転できる人は？……………16
始業点検のしかた……………16
運転開始の準備……………17

3 入庫するとき……………18

入庫できない車のチェック……………18
専任管理者によるゲージの呼出し方……………19
会員の暗証によるゲージの呼出し方……………20
入庫前のドライバーの注意……………22
駐車室内でのドライバーの注意……………23
駐車室を出るとき……………27

4 運転をするとき……………29

5 出庫するとき……………29

出庫操作のしかた（管理者／テナント共通）……………29
ターンテーブルの操作のしかた……………30

6 運転を終了するとき（終業点検）……………32

7 事故や災害のとき……………33

事故が起きたとき……………33
火災が発生したとき……………34
地震が起きたとき……………35
停電したとき……………35
その他の災害のとき……………35

8 故障のとき……………36

動かないとき……………36
その他の異常のとき……………37

9 テナント契約を結ぶとき……………38

10 保守契約……………39

付録

こんなとき このページを！

運転を始める前に

運転できる人はだれ？
できない人はどんな人？
▶16ページ

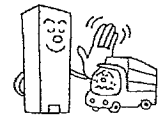


毎日の運転開始のときの
準備のしかたは？
(始業点検のしかた)
▶16、17ページ



車を入庫するとき

入庫できない車は？
▶18ページ



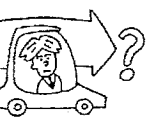
管理者が入庫するときの
操作盤の操作のしかたは？
▶19ページ



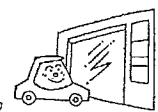
テナントが入庫する
ときの操作盤の操作の
しかたは？
▶20、21ページ



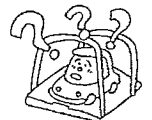
ドライバーの正しい車の
入れかたは？
▶22、23、24
ページ



入庫のとき管理者や
テナントが注意する
ことは？
▶22、23、24、
25、26、27ページ



入庫が済んでも設備が
動作しないときは？
▶36ページ



車を出庫するとき

管理者が出庫するときの
ケージの呼出し方は？
▶29ページ



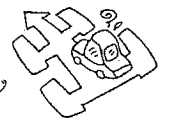
テナントが出庫するときの
ケージの呼出し方は？
▶29ページ



ターンテーブルの
操作のしかたは？
▶30、31ページ



出庫するときに
管理者やテナントが
注意することは？
▶29、30、31ページ



事故や災害のとき

物損事故や人身事故が
起きたときは？
▶33ページ



火災が発生したときは？
▶34ページ



地震が発生したときは？
▶35ページ



台風、豪雨、浸水など
のときには？
▶35ページ



故障が発生したとき

設備が動かなくなった
ときには？
▶36ページ



異常音がる、ケージが
呼出せない、
違うケージがきたなど
のときには？
▶37ページ



その他

テナントと契約するとき
▶38、39ページ



1 各部の名称とはたらき

設備のすがた

●下図は、独立鉄塔型の下部乗り入れ式タイプの例です。設備によってはこの図と異なる場合があります。

1 鉄塔

立体駐車設備全体の構造体です。

2 案内灯

ドライバーに入出庫の指示を与えるための表示灯で、入口の入庫案内灯と、駐車室内奥の自動車位置案内灯があります。

3 ケージ

自動車を一台ずつ載せるかご全体のことです。

4 パレット

自動車を載せる台（パネル）です。

5 非常扉

非常用のドアで、ふだんは出入りしません。

6 駆動装置

ロータリを回転させるためのモーターです。

7 駐車室

自動車を入庫するスペースです。

8 操作盤

管理者やテナントが駐車設備を運転するための操作パネルです。

9 消火設備

火災発生の際に消火するための設備です。

10 管理人室

管理人の控室です。（設備によっては取付けていない場合もあります）

11 ターンテーブル

出庫する車の向きを転換します。（設備によっては取付けていない場合もあります）

操作盤

実車表示灯

そのケージに駐車されていることを示します。

待ち時間表示灯

ケージが来るまでの時間を示します。

空車実車台数表示灯

空ケージと使用ケージ台数を示します。

暗証キー入力スイッチ

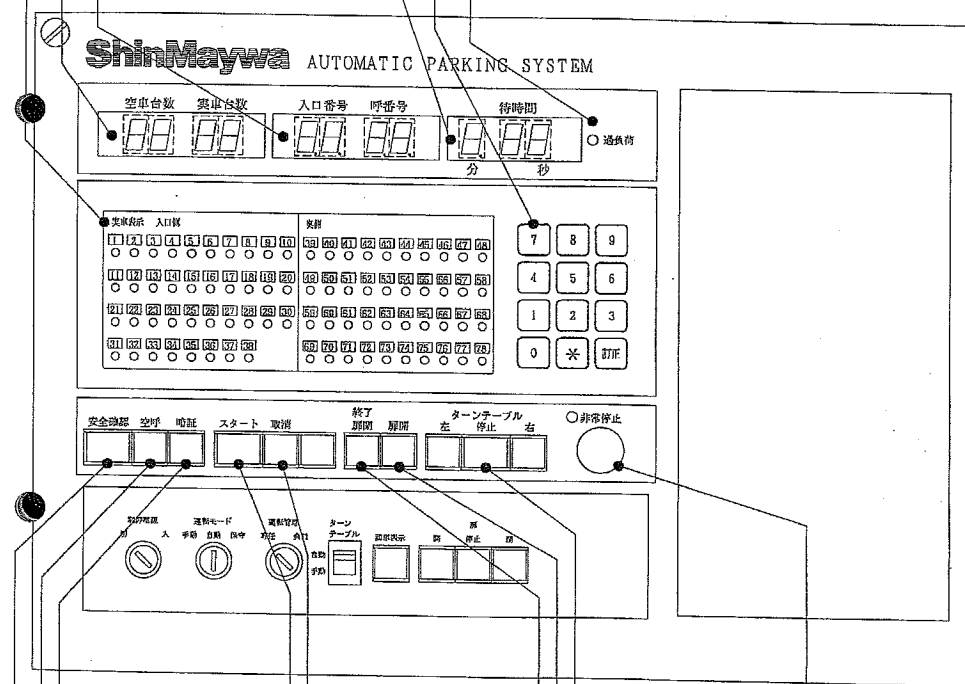
ケージ番号や暗証番号をキーで入力します。

入口番号・呼出番号表示灯

入口番号と呼出登録番号を示します。

過負荷警告灯

モーターの負荷オーバー状態を表示します。



暗証ボタン
テナントが暗証番号を入力する前に押します。

空呼ボタン
自動的に空いたケージを呼出します。

安全確認ボタン
次の操作の安全を確認するためのボタンです。

取消ボタン
呼出しを取消するときに押すとケージが停止します。

スタートボタン
呼出し入力後に起動させます。

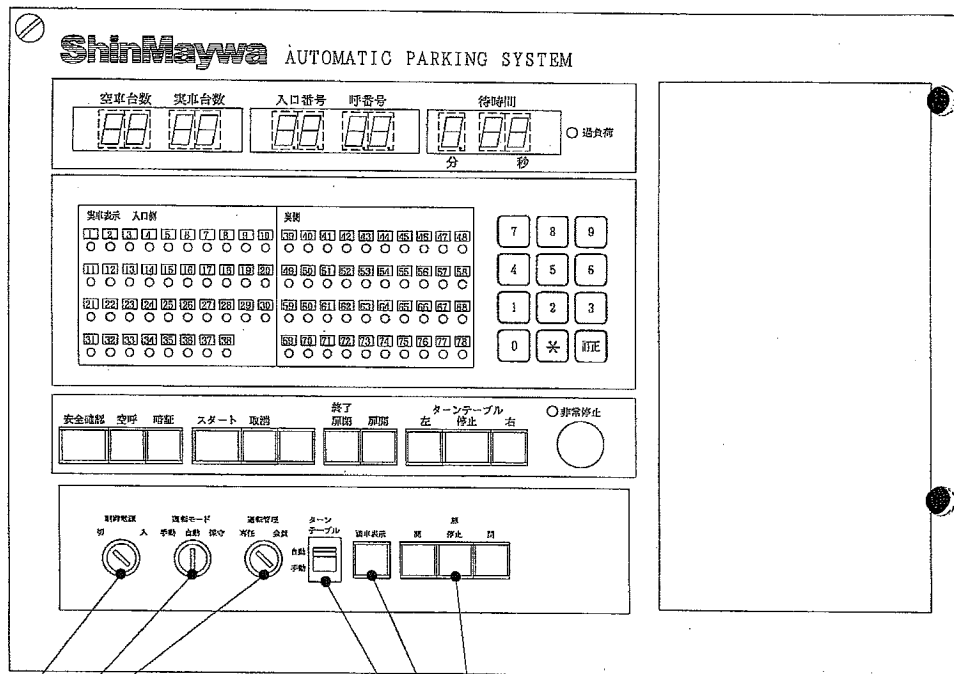
**ターンテーブル
回転方向指示ボタン**
左回転、右回転、停止などの操作をするためのボタンです。

扉開ボタン
出入口の扉を開くためのスイッチです。

終了/扉閉ボタン
出入口の扉を閉めるためのスイッチです。

非常停止ボタン
非常事態の発生時に設備全体をただちに停止させます。

操作盤 つづき



運転管理スイッチ
運転管理者を選択するためのスイッチです。

扉（開・停止・閉）ボタン
保守作業のときに使用します。

運転モードスイッチ
運転方式を選択するためのスイッチです。

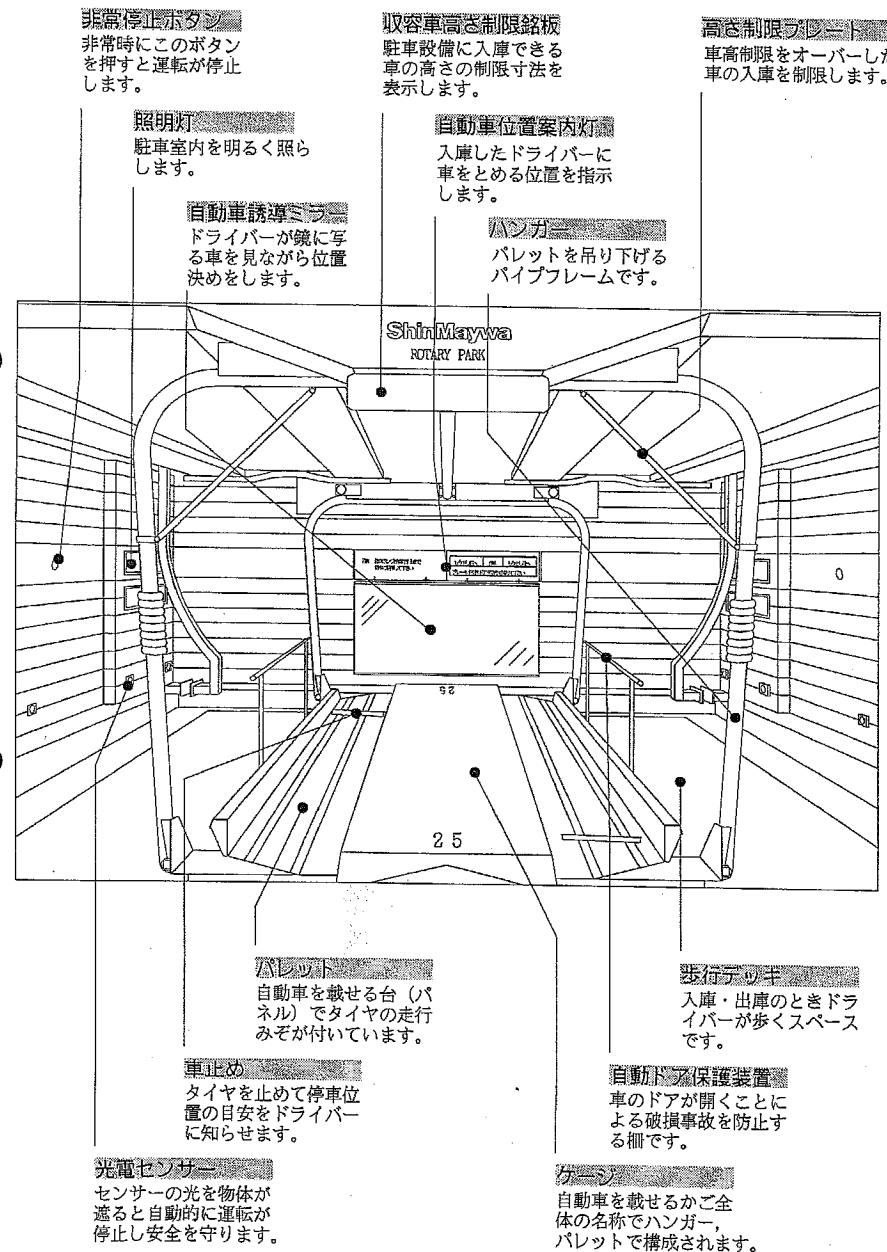
満車表示ボタン
満車であることを表示します。

制御電源スイッチ
装置の運転および休止するときのキー式の電源スイッチです。

ターンテーブル切換スイッチ
ターンテーブルの運転モードを選択します。

駐車室内

●下図は駐車室内内装有りの例です。設備によっては、この図と異なる場合があります。



非常停止ボタン
非常時にこのボタンを押すと運転が停止します。

収容車高さ制限銘板
駐車設備に入庫できる車の高さの制限寸法を表示します。

高さ制限ライン
車高制限をオーバーした車の入庫を制限します。

照明灯
駐車室内を明るく照らします。

自動車位置案内灯
入庫したドライバーに車をとめる位置を指示します。

自動車誘導ミラー
ドライバーが鏡に写る車を見ながら位置決めをします。

ハンガー
パレットを吊り下げるパイプフレームです。

パレット
自動車を載せる台（パネル）でタイヤの走行みぞが付いています。

歩行デッキ
入庫・出庫のときドライバーが歩くスペースです。

車止め
タイヤを止めて停車位置の目安をドライバーに知らせます。

自動ドア保護装置
車のドアが開くことによる破損事故を防止する柵です。

光電センサー
センサーの光を物体が遮ると自動的に運転が停止し安全を守ります。

ハンガー
自動車を載せるかご全体の名称でハンガー、パレットで構成されます。

案内灯

入庫案内灯

入庫しようとする車のドライバーに指示を与えます。



1 「満車」

満車であることを赤いランプで表示します。駐車設備を利用できません。

2 「お入り下さい」

ドアが開いているときに、緑のランプで表示し、入庫できることを示します。入庫が終わるとランプが消えます。

3 「車が出ます」

呼出したゲージが到着して、出庫できることを赤いランプで表示します。ドライバーは室内に入り、出庫することができます。

4 「運転中」

機械が作動中であることを赤いランプで表示します。点灯中は入出庫できません。

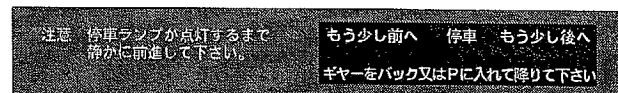
自動車位置案内灯

乗入れた車のドライバーに停車位置を指示します。

標準仕様



寒冷地仕様



進入した車に対して、もう少し前進するようブザーとともに指示します。



自動車位置案内灯 つづき

車が正規の停車位置に達したことを表示します。

まず「停車」の文字が点灯し、その2秒後に「ブレーキを引きドアを開けて降りて下さい」または、「ギヤをバック又はPに入れて降りて下さい」の文字が点灯します。

車が正規の位置にないときは点灯しないので、誤動作の危険はありません。

標準仕様

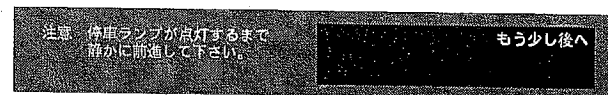


寒冷地仕様



車が前へ進み過ぎたときに、ブザーとともに点灯して、後退するよう指示します。

ドライバーは「停車」または「ブレーキを引きドアを開けて降りて下さい」または、「ギヤをバック又はPに入れて降りて下さい」の表示が出るまで、車を後退させます。



高さ制限以上の車が入庫しようとしたときに、ブザーとともに点灯して、後退するよう指示します。

この場合、車を出庫させてください。出庫しない限り駐車設備の運転はできません。

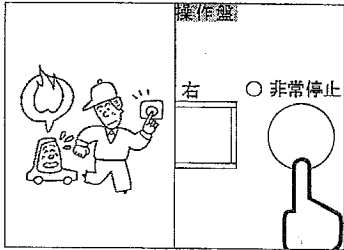


出庫警報灯

●設備によっては異なるもの、または装備されていない場合もあります。駐車場の出入口に設置してあり、外を通る車や入庫する車、また通行人などに出入する車のあることを知らせます。操作盤の「出庫警報ボタン」を押しますと、一定時間出庫警報灯が点灯します。また、操作盤の「出庫警報ボタン」のランプが点灯し、出庫警報灯が点灯していることを示します。

安全装置

新明和立体駐車設備には、「Safety & Amenity」の製品コンセプトにもとづき、設備とご利用客の安全を徹底して守る配慮がなされています。

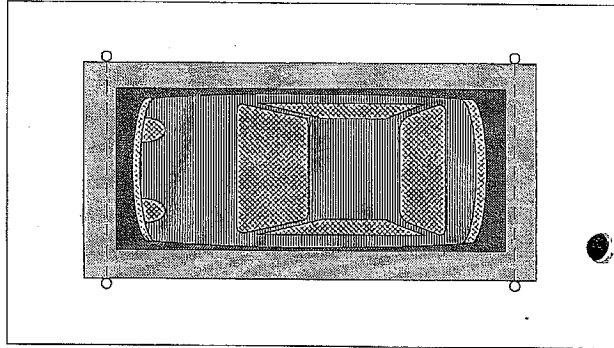
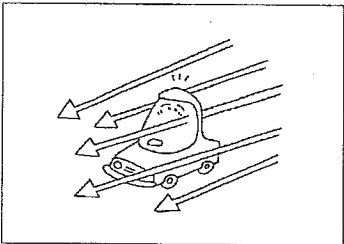


非常停止ボタン

非常事態のときには、操作盤と駐車室内の双方についている「非常停止ボタン」を押すことにより、すべての機械の動作は直ちに停止します。復帰させる場合は、駐車室内に人がいないことを確認後、操作盤の非常停止ボタンをもう一度押します。

光電センサー

設備の運転中に、駐車室内で人や車、または何らかの障害物が光電センサーの光を遮ると、自動的に運転が停止します。光電センサーは、駐車室内の要所に複数個設置されています。



----- 光電ビーム
○ 光電センサー

マットスイッチ

歩行デッキの上にマットスイッチを設けてあり、この上に人や物が乗っていると、設備の運転はできません。

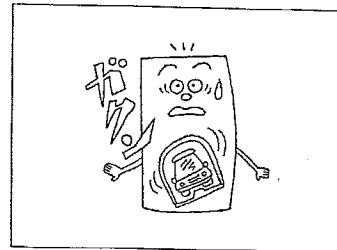
- マットスイッチは、奥側号機のみ装備しています。

自動非常停止システム

次の場合に、自動的に運転が停止します。

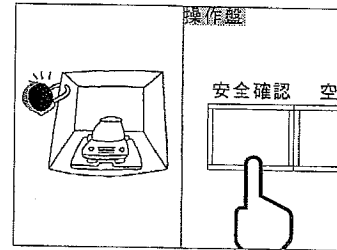
- 運転中に光電センサーが遮られたとき
- 駆動用のモーターが過負荷になったとき
- ケージ用のチェーンが異常に伸びたとき
- 片荷状態となりモーターが巻き上げ不能のとき
- 非常口を開けたとき
- 駆動装置部の非常スイッチを押したとき
- 入口扉がオーバーランしたとき（上開きドアの場合）

自動非常停止の場合の復帰は、必ずSMECの最寄り営業所にご連絡し、指示に従ってください。



運転ロック装置

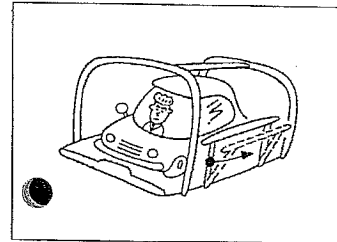
人または車が駐車室内に入ると、自動的に運転ができなくなります。ロックを解除して運転を開始するには、駐車室内に人がいないことを確認した後、操作盤の「安全確認ボタン」を押します。



自動ドア保護装置

機械の運転中にもし車のドアが開くと、車も駐車設備も破損します。これを防止するために、各ケージに防止柵を設けてあり、車の入出庫時には自動的に防止柵は倒れます。

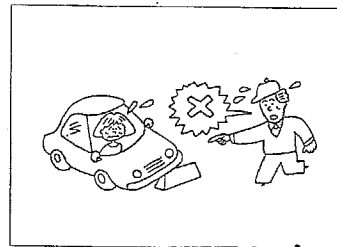
ロータリを運転するときは、防止柵は自動的に立上ります。



車止め

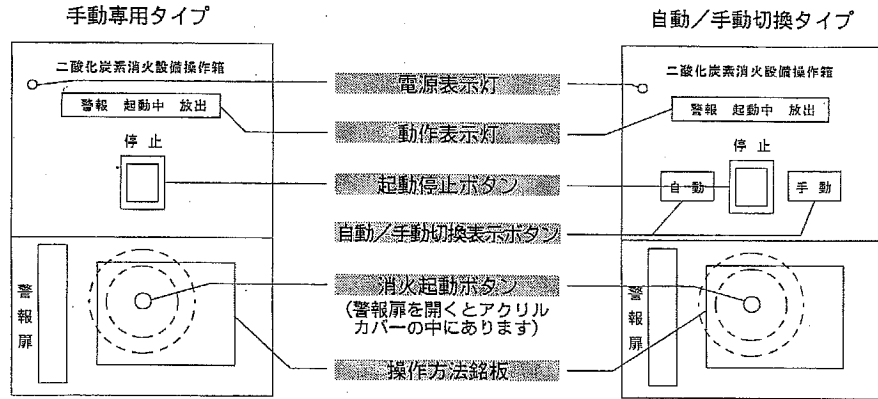
すべてのケージのパレットには、車止めがついています。車止めはあくまでも停車位置の目安で、正しくは自動車位置案内灯の「停車」「ブレーキを引くドアを開けて降りてください」または、「停車」「ギヤをバック又はPに入れて降りてください」の指示に従って停車します。

車止めを越えて止めたり、車止めに乗上げて止めたりしないでください。



消火設備

新明和立体駐車設備には、操作盤の下部に下図のような「二酸化炭素消火操作箱」が組み込まれています。本消火設備は、消火剤として二酸化炭素(CO₂)ガスを使用しています。



消火モードの選択

自動/手動切替タイプの場合
管理者の方が常駐している場合は、上図の「自動/手動切替表示ボタン」を押して「手動」とし、夜間などの無人になるときのみ、「自動」にしてください。



消火方法

火災が発生し、消火設備が起動すると、立体駐車設備全体に二酸化炭素ガスが放出されて、消火が行われます。
●自動消火の場合と手動消火の場合の操作方法について、詳細は「消火設備説明書」をごらんください。



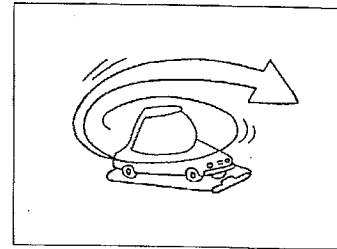
消火設備の点検

消火設備がいざというとき効果的に作動するよう、ふだんから定期点検をしておく必要があります。
●オーナー様と消火設備メーカーとの間で、定期保守契約を締結されるようおすすめします。

旋回装置

旋回装置の役割

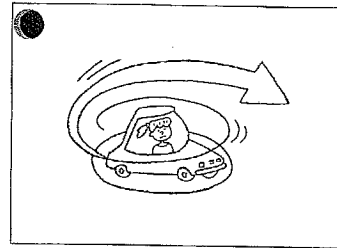
駐車室内の内部にターンテーブルを内蔵し、自動車が前進で入庫ができるように方向転換するための装置で、ケージ呼操作と連動して旋回します。
●旋回装置は、奥側号機のみ装備しています。



ターンテーブル

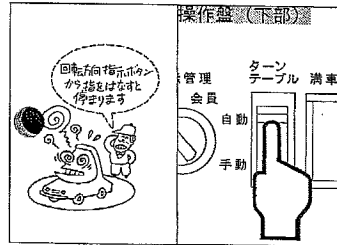
ターンテーブルの役割

ターンテーブルは、出庫した車を載せて回転し、走行できるように方向転換するための装置です。
ターンテーブルのコントロールは、操作盤で押ボタンにより簡単にでき、自動運転と手動運転があります。



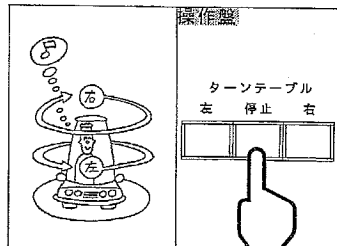
自動運転 設定された角度だけ回転して、自動的に停止します。

手動運転 任意の位置に停止させられます。



ターンテーブル切替スイッチ

ターンテーブルの自動運転と手動運転を選択するためのスイッチです。
自動の場合は設定された角度だけ回転して自動停止、手動の場合は「ターンテーブル回転指示ボタン」の「右」または「左」のボタンを押している間だけ回転して、離すと停止します。



回転方向指示ボタン

「右」または「左」のボタンにより、ターンテーブルの回転方向を設定できます。また2つのボタンの間には「停止」のボタンがあります。
「停止」のボタンは、自動運転の場合に回転の途中で押すと、設定された角度まで回転していなくても即座に停止します(手動運転の場合は、「右」または「左」のボタンから指を離すと停止します)。

2 運転をはじめる前に

この項では、毎日の設備運転を開始する前に管理者の方にしていただきたいことをご説明します。

設備を運転できる人は？

立体駐車設備は、定められた方（運転管理者の方、またはテナントで認定された方）以外には、絶対に操作させないようにしてください。不特定のご利用客の入出庫につきましては、必ず管理者が立会い、監視・誘導してください。また設備の運転中は、いつでも非常停止ができるよう、操作盤から離れないでください。

始業点検のしかた

駐車室内の安全点検

駐車室内に人がいないことと、ケージやデッキに荷物や障害物がないことを確認してください。

ランプ切れの点検

案内灯（入庫案内灯、自動車位置案内灯）、照明灯、警告灯（その他操作盤のランプ類）が切れていないかどうかチェックしてください。

光電センサーの点検

駐車室内の各所についている光電センサーの動作チェックをしてください。

試運転

営業前に試運転をし、「きしみ音」などの異常があれば、営業を開始せず、すぐSMECの最寄りの営業所にご連絡ください。

運転開始の準備

1 電源を入れる

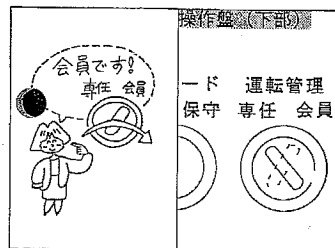
まず、操作盤の下部にある「制御電源スイッチ」を「入」にして、キーを抜いてください。

●運転中は「入」「切」の操作はしないでください。



2 運転者を選ぶ

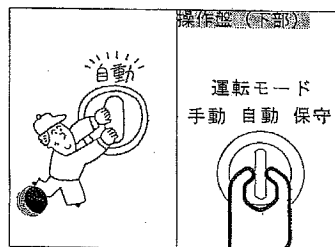
操作盤の下部にある「運転管理スイッチ」を、テナント等の複数ご利用者が運転する場合は「会員」、特定の管理者の方が運転する場合は「専任」にします。



3 運転モード設定

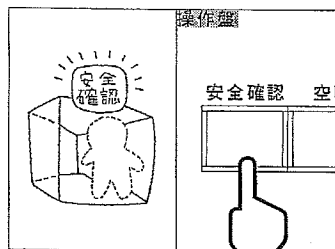
操作盤の下部にある「運転モードスイッチ」を「自動」にしてください。ただし、このときドアを閉めないと運転できません。

●「運転モードスイッチ」の「手動」は、保守作業による手動運転のとき、また「保守」は各種タイマー等の設定のときに使用します。（保守作業に使用する運転モードスイッチは、必ず保守点検員の指示による以外は使用しないでください）



4 安全の確認

モードを「自動」にしたとき、操作盤の「安全確認ボタン」が点滅した場合は、運転できません。必ず駐車室内に人がいないことを確認した後に、「安全確認ボタン」を押してください。ランプが消えて運転できるようになります。



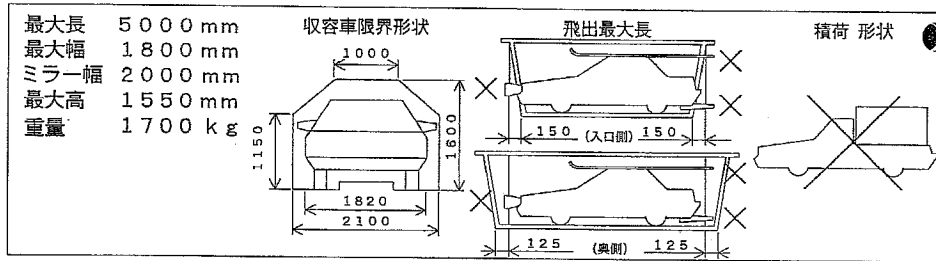
3 入庫するとき

この項では、自動車を入庫するときの、管理者の方やテナントの方の操作のしかた、およびドライバーの入庫時の注意事項についてご説明します。

入庫できない車のチェック

制限寸法と形状

不特定のご利用客については、入庫の前に、必ず下記のような制限に該当しないかどうかを、チェックしてください（操作盤にも図示してあります）。



外観によるチェック

改造車

- 車高を改造した車
- 後部にマフラーが突き出た車
- 前部にフォグランプなどが出た車



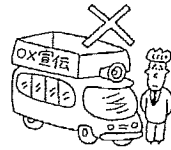
大型のミラー

タイヤ側面から170mm以上ミラーが張り出しているとケージに当たるとの恐れがあります



タクシーなどの防犯灯など

- タクシーの防犯灯
- 宣伝カーの屋上看板など



上開きのドア

ドアが上方に開くタイプの車（一部収容可能車もあります）



枠を組んだ車

荷台に枠を組んだり、そこに幌をかけている車



車検証の確認

入庫車が寸法制限に該当しそうな車は、車検証で確認してください

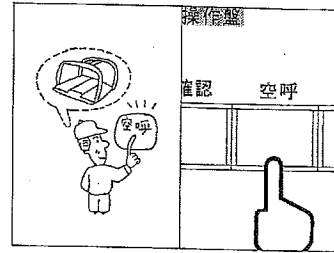


専任管理者による ケージの呼出し方

1 「空呼」を押す

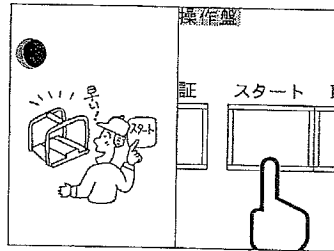
ケージを呼出すには、まず操作盤の「空呼ボタン」を押します。このボタンは、片側に荷重をかけずバランスをとって運転するための最適空ケージを自動的に選んで呼んでくれます。

- 全ケージの3分の1以上の片荷になると、装置が循環できないか、自動停止することがありますので、なるべく「空呼ボタン」を使ってください。



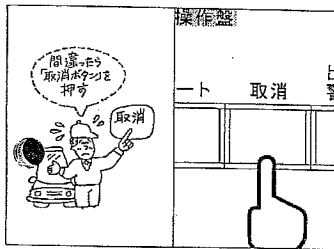
2 「スタート」を押す

「スタートボタン」を押すと、ロータリが運転し、最短時間で空ケージが到着してドアが開きます。



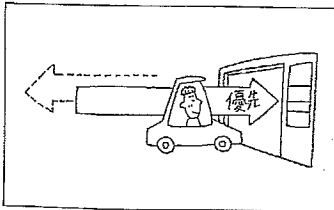
3 取消するとき

間違えて「スタートボタン」を押したときは、「取消ボタン」を、「空呼ボタン」だけ押したときは、「訂正ボタン」を押してください。その他、呼出したケージの手前のケージを止めたいとき（例、出庫客のためケージを呼んだが、入庫客のケージが手前にいるため、そのケージからの入庫を優先したいとき）も、同様です。その場合は、出入口に最も接近しているケージが止まります。



4 入庫優先

出庫と入庫が同時にあるときは、出庫パレットよりも先に入庫パレットを呼出したほうが、ターンテーブルが混雑しません。



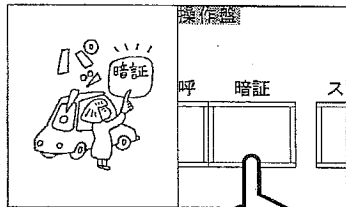
会員の暗証による ケージの呼出し方

テナント（会員）が暗証番号によって呼出す方式には、「フリーロケーション方式」と「固定方式」があります。「フリーロケーション方式」では、暗証番号を入力すると特定のケージでなく空いているケージが呼出されます。「固定方式」では、暗証番号に対応して定められたケージが呼出されます。



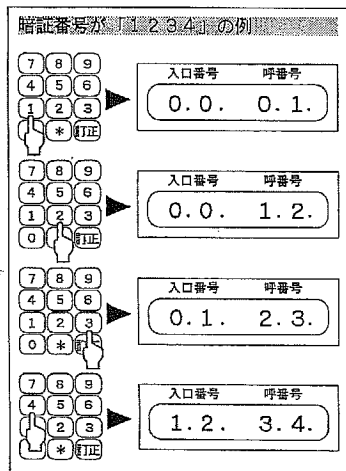
1 安全の確認

操作盤の「安全確認ボタン」が消灯していることを確認してください。会員呼出しの場合は、通常はドアが閉まっているので、室内に人がいないことを確認してから運転操作を始める必要があります。



2 「暗証ボタン」を押す

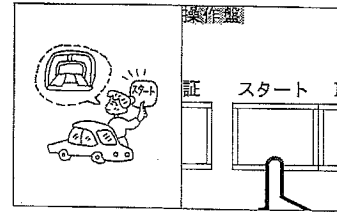
操作盤の「暗証」のボタンを押します。



3 暗証番号を押す

続いて暗証番号（4ケタ）を操作盤のテンキーで入力してください。テンキーを1つずつ押していくと、操作盤の「入口番号」と「呼番号」のデジタル表示部（各2ケタずつ）に、左図のように順次数字が出てきますから、誤りがないか確認してください。

●数字の右下のポイントの点灯は、入力中であることを示しています

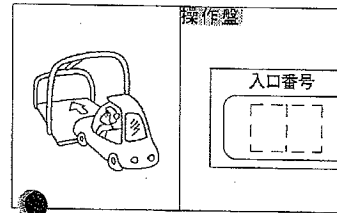


4 「スタート」を押す

暗証番号を入力し確認したら、操作盤の「スタートボタン」を押してください。フリーロケーション方式では、片側にならず、かつ最も近くにいる空ケージが呼出されます。

固定方式では、暗証番号に対応して定められたケージが呼出されます。

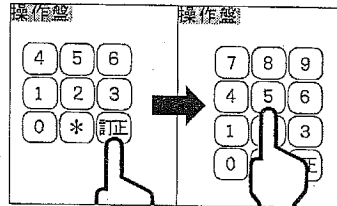
●会員操作の場合は、「空呼ボタン」を押す必要はありません。



5 ケージ到着

「スタート」を押すと、起動ブザーが約4秒鳴った後、ロータリの回転が始まります。

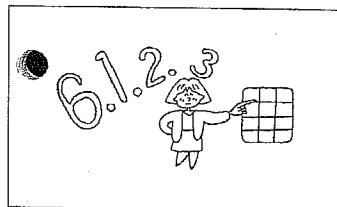
このとき「入口番号」のデジタル表示の番号が順次変化し、呼ばれたケージが出入口に近づいてくることがわかります。そしてケージが到着するとドアが自動的に開きます。



6 暗証番号の訂正

「スタートボタン」を押す前の訂正

暗証番号を押し間違えたときは、「訂正ボタン」を押して正しい番号を入力するか、または続けて正規の番号をテンキーから入力すれば訂正できます。



●ただし、3ケタの間違い、例えば「1. 2. 3」と入力すべきところを、「4. 5. 6」と押してしまい、続けてテンキーから入力訂正する場合は、「1. 2. 3」と押すと、表示は「6. 1. 2. 3」になってしまいます。必ず、「0. 1. 2. 3」と押してください。



「スタートボタン」を押した後の訂正

正規の暗証番号以外の番号で「スタートボタン」を押した場合は、入口番号の表示は現在出入口にいるケージの番号となり、ブザーが鳴って、ドアは開きません。この場合はもう一度、最初から操作をやり直してください。

●5回以上連続して正規の番号登録がされないときには、その番号登録を停止するとともに、ブザーが鳴り、警報を出します。これを復帰するには、「制御電源スイッチ」を一度「切」にした後、「入」にしてください

入庫前のドライバーの注意

同乗者の扱い

ドライバー以外は、車が入庫する前に降ろし、下車したあと、ドアは確実に閉めてください。

- ドアが確実に閉まっていないと、駐車設備の運転中にドアが開き、ドアおよび駐車設備を破損し、事故につながります。



荷物の積み降ろし

荷物の積み降ろしも、車が入庫する前にすませてください。

- 駐車室内での荷物の積み降ろしの作業は、荷物の置き忘れから、駐車設備運転中に、荷物の落下により、車および駐車設備を破損し、事故につながります。



アンテナの扱い

自動車のアンテナは、入庫する前に降ろしてください。

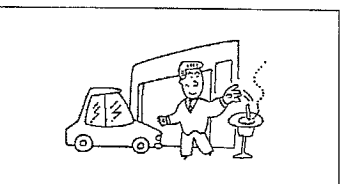
- アンテナを立てたまま入庫しますと、アンテナがハンガーに当たり、アンテナが破損する恐れがあります。



必ずタバコを消す

駐車室内は禁煙です。入庫する前に、タバコの火は必ず消してください。

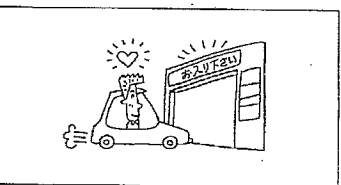
- 駐車室内では車に、多量のガソリンがあり、火気は大変危険です。



駐車室内への進入

出入口の上の入庫案内灯に「お入り下さい」のランプが点灯してから、車を前進でゆっくりと（制限速度5キロ以下厳守）入庫してください。

- あわてて入庫しようとしますと、正しい位置に車が止まらず、車および駐車設備の破損、人身事故につながります。

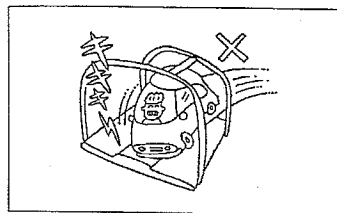


駐車室内でのドライバーの注意

バレットでの走行

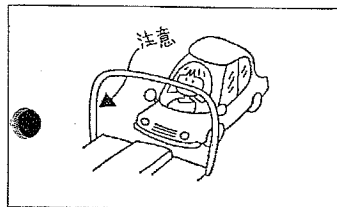
車はバレットのタイヤ溝に合わせて進入し、バレット上での急発進や急停止はしないでください。

- また、バレット溝の立ち面でタイヤなどを傷つけないよう、注意してください。
- バレット上での急発進や急停車は、車および駐車設備を破損し、事故につながります。



ドアミラー付の車の場合

ドアミラーの付いた車は、バレットの中央を進み、ミラーがハンガーにぶつからないように注意して停車してください。



停車のしかた

バレットの上では、前面のミラーを見ながら運転し、同時に「自動車位置案内灯」の表示をよく見て、「停車」「ブレーキを引きドアを閉めて降りてください」または、「停車」「ギヤーをバック又はPに入れて降りて下さい」が点灯する位置まで、ゆっくり車を進めてください。

標準仕様

注意 停車ランプが点灯するまで
徐々に前進して下さい。

停車

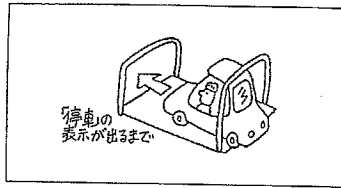
ブレーキを引き ドアを閉めて降りて下さい

寒冷地仕様

注意 停車ランプが点灯するまで
徐々に前進して下さい。

停車

ギヤーをバック又はPに入れて降りて下さい



前後調整のしかた

車が停車位置に達しない間は、案内灯に「もう少し前へ」の表示が出ます。その場合「停車」の表示が出るまでゆっくり前進してください。

標準仕様

注意 停車ランプが点灯するまで 静かに前進して下さい。

もう少し前へ

注意 停車ランプが点灯するまで 静かに前進して下さい。

停車

ブレーキを引きドアを閉めて降りて下さい

寒冷地仕様

注意 停車ランプが点灯するまで 静かに前進して下さい。

もう少し前へ

注意 停車ランプが点灯するまで 静かに前進して下さい。

停車

ギヤーをバック又はPに入れて降りて下さい

また、車が前へ進み過ぎたときは、案内灯に「もう少し後へ」の表示が出ます。その場合「停車」の表示が出るまで、ゆっくり車を後退させてください。

標準仕様

注意 停車ランプが点灯するまで 静かに前進して下さい。

もう少し後へ

注意 停車ランプが点灯するまで 静かに前進して下さい。

停車

ブレーキを引きドアを閉めて降りて下さい

寒冷地仕様

注意 停車ランプが点灯するまで 静かに前進して下さい。

もう少し後へ

注意 停車ランプが点灯するまで 静かに前進して下さい。

停車

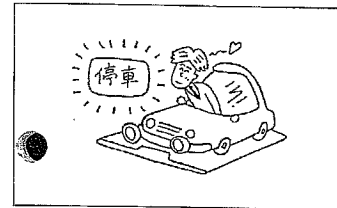
ギヤーをバック又はPに入れて降りて下さい

高さ制限以上の車が入庫しようとしたとき

高さ制限以上の車が入庫しようとしたときは、案内灯に「もう少し後へ」がブザーとともに点灯して、後退するよう指示します。この場合、車を出庫させてください。出庫しない限り駐車設備の運転はできません。

注意 停車ランプが点灯するまで 静かに前進して下さい。

もう少し後へ

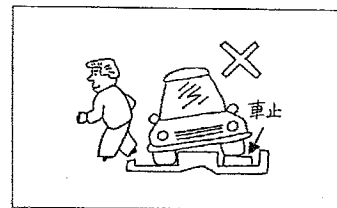


フロントにパーツをつけた車の場合

フロントバンパーにフォグランプなどのパーツを付けた車の場合は、正規の停車位置から突出している分だけ車をバックさせてください。「停車」の表示が出れば駐車できます。

●車長制限は光電センサーで行っていますが、バンパーにゴムを取り付けたり、フォグランプ等が前に飛び出ている場合など、検出しないことがあります。この様な車を入庫させるときは、必ず車長制限内であることを確認してください。

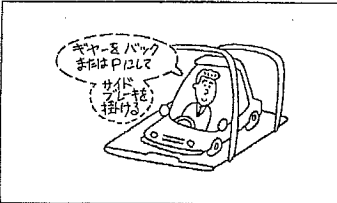
万一、少しロータリが運転した時点でストップしたときは、上記の車でないかをチェックしてください。



車止めについて

パレットには車止めがついていますが、これは停車位置の目安にすぎません。正しくは、案内灯の「停車」「ブレーキを引きドアを閉めて降りてください」または、「停車」「ギヤーをバック又はPに入れて降りて下さい」の表示に従ってください。

●車止めにタイヤを乗上げたまま駐車しないでください。車のバランスが不安定になり、駐車設備運転中に、車および駐車設備を破損し、事故につながります。



ブレーキを引く

標準仕様の場合
案内灯の表示にも「ブレーキを引き・・・」と出ますが、必ずサイドブレーキをしっかり掛けてください。またギヤは「バック」または「P」にしておいてください。

注意 停車ランプが点灯するまで静かに前進して下さい。

停車
ブレーキを引きドアを開けて降りて下さい



ギヤを「バック」または「P」に入れる

寒冷地仕様の場合
寒冷地仕様の場合は、サイドブレーキを掛けず、ギヤを「バック」または「P」にしておいてください。

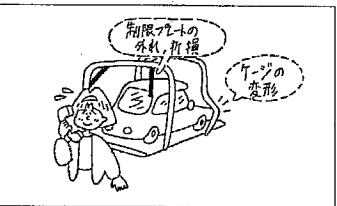
注意 停車ランプが点灯するまで静かに前進して下さい。

停車
ギヤをバック又はPに入れて降りて下さい



ドアは必ず閉める

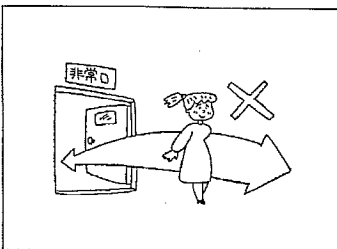
車から降りるときは、車のすべてのドア [前後ドア (ウィング式ドア含む)、リヤードア、トランクドア] を確実に閉めてください。閉め忘れますと運転中にドアが開き、機械と干渉し、車が破損したり大事故を起こしたりする危険があります。
●特にウィング式ドア、リヤードア、トランクドアについては、ドア保護装置を装備した駐車場でも、現在のドア保護装置では、半ドアまたはドア開状態の検出ができませんのでご注意ください。



ゲージを変形させたとき

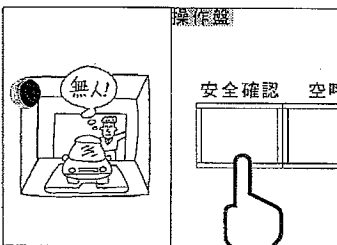
入庫のとき車がゲージのハンガーなどに衝突して、ハンガーなどを変形させたときは、そのまま設備の運転を開始しないで、すぐSMECの最寄りの営業所にご連絡してください。
また、入庫のとき車が制限プレートを折損または外したときは、制限寸法が形状制限がオーバーしている車でするので、入庫しないでください。
〔「入庫できない車のチェック」を参照してください〕
そのままロータリを運転しますと、重大な事故につながる恐れがあります。すぐSMECの最寄りの営業所にご連絡してください。

駐車室を出るとき



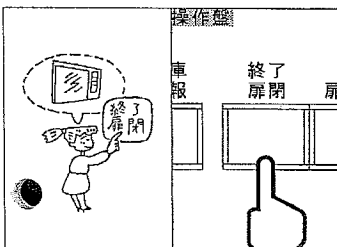
駐車室の出口

ドライバーが駐車室に出入りするとき、非常口は絶対に使用しないでください。また、光電センサーにも触れないでください。どちらの場合も安全装置が働いて、設備の運転ができなくなります。



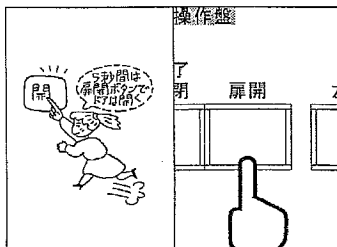
室内の安全確認

駐車室内が無人であることを確認してから、操作盤の「安全確認ボタン」を押してください。



駐車室の扉閉め

「安全確認ボタン」を押した後、必ず操作盤の「終了/扉閉ボタン」を押して、ドアを閉めてください。
ドアを開けたままにしておくとブザーが鳴り、警報を出します。警報を止めるにはドアを「閉」にしなければなりません。

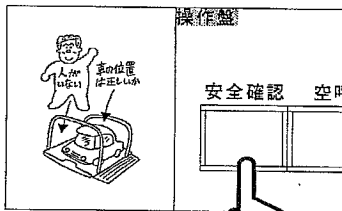


扉開の訂正

テナント(会員)操作の場合
駐車室のドアを閉めた後、5秒間は操作盤の「扉開ボタン」でドアを開くことができますが、5秒経過後は開くことはできません (この場合は、もう一度暗証番号の登録からはじめてください)。

4 運転をするとき

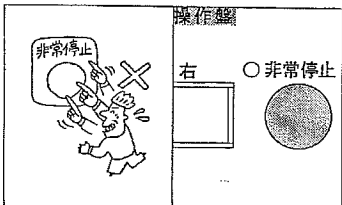
この項では、入庫・出庫を問わず、設備運転中の注意事項についてご説明します。



安全確認の徹底

入庫、出庫を問わず、運転操作につきましては、必ず駐車室内に人がいないことを確認したうえで、「安全確認ボタン」を押すことを励行してください。

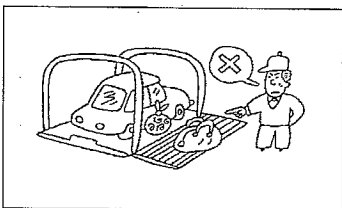
- とくにテナント（会員）の場合は、このボタンを押さないとドアが閉まらず、あとの操作ができません。
- 「安全確認ボタン」を押して運転できない場合、室内に人がいないか、車の位置は正しいかを再確認してください。



非常停止ボタン

「非常停止ボタン」は、みだりに押さないでください。万一非常停止した場合は、この説明書の「8. 故障のときは」を見て、原因をよく確かめたうえで、異常がなければ操作盤の「非常停止ボタン」をもう一度押して、復帰させてください。

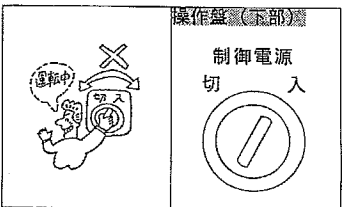
少しでも不審な点があれば、直ちにSMECの最寄りの営業所にご連絡してください。



物を放置しない

ケージ内には、車以外のもの（鞆、その他の荷物）を放置しないでください。また、歩行デッキにも荷物を置かないでください。

- 車以外のものをケージ内に放置したまま駐車設備を運転しますと、車および駐車設備を破損し、事故につながります。



電源スイッチ

運転中は、操作盤下部についている「制御電源スイッチ」の「入」-「切」操作はしないでください。

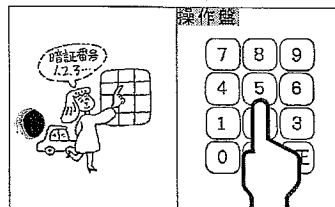
- 運転中に「制御電源スイッチ」の「入」-「切」操作を行いますと、駐車設備が急停止して、ケージのゆれが大きくなり危険です。

5 出庫するとき

この項では、自動車を出庫するときの、管理者の方やテナントの方の操作のしかた、およびドライバーの出庫時の注意事項についてご説明します。

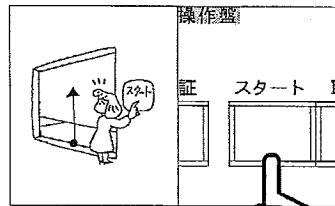
出庫操作のしかた (管理者/テナント共通)

1 番号を入力する



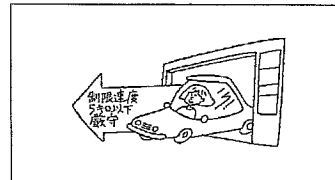
操作盤の「テンキースイッチ」で、管理者による操作の場合は出庫するご利用者の「ケージ番号」を、またテナントの方の操作の場合は「暗証ボタン」を押した後、ご自分の「暗証番号」を入力してください。

2 「スタート」を押す



次に「スタートボタン」を押してください。ロータリが運転を始めて、呼出したケージが出入口に到着し、自動的にドアが開きます。

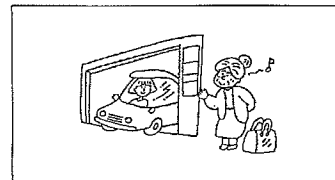
3 出庫させる



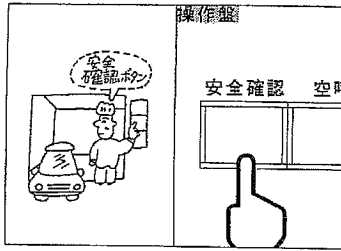
ケージが完全に停止してから、ドライバーが駐車室内に入り、ゆっくり（制限速度5キロ以下厳守）車を出してください。

- ドライバーが室内に入り出庫させている間は運転ロックがかかり、設備の運転は行なわれません。

4 パートナーは入口の前で

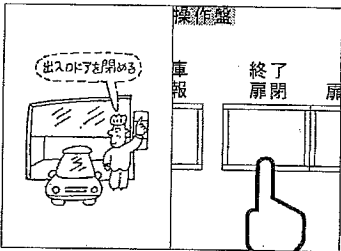


出庫のとき、駐車室内に入り、車を出すのは、ドライバーだけにし、同乗の方や荷物は出入口の前で待機しててください。



5 安全確認ボタンを押す

駐車室内に人がいないことを確認した後、操作盤の「安全確認ボタン」を押してください。運転ロックが解除されます。



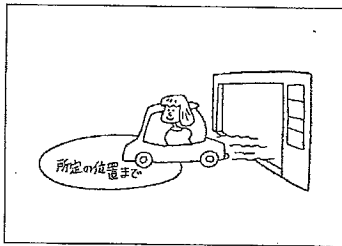
6 ドアを閉める

出庫が終わったら、操作盤の「終了/扉閉ボタン」を押して、出入口ドアを必ず閉めてください。これを怠ると、思わぬトラブルの原因になります。
●ドアが開いていて、空きケージにそのまま他のテナントの方が入庫した場合、出庫のとき暗証番号で自分の車が呼出せなくなります。

ターンテーブルの操作のしかた

1 車をのせる

ドライバーは、出庫した車をそのままバックさせて、ターンテーブルの所定の位置に載せます。

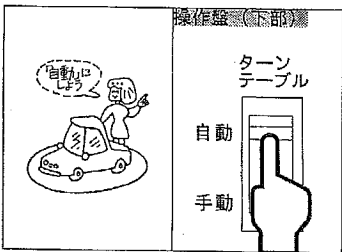


2 運転モードを選択する

操作盤下部の「運転モード切換スイッチ」で、「自動」または「手動」を選択します。

「自動」 設定された角度だけ回転して自動停止します。

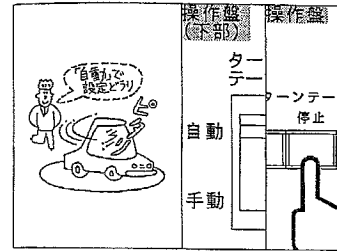
「手動」 任意の位置まで回転して停止させられます。



3 回転させ、止める

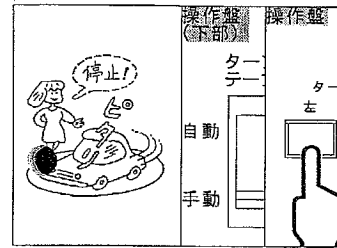
自動運転の場合

自動の場合は、「左」または「右」のボタンを押すと、左または右に回転を始め、設定された角度まで回転すると、自動的に停止します。また回転の途中でも、「停止」のボタンを押せば、すぐ停止します。



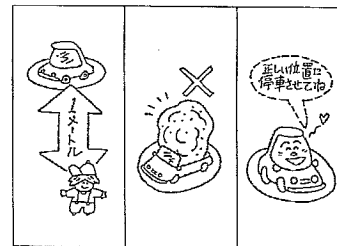
手動運転の場合

手動の場合は、「左」または「右」のボタンを押し続けている間だけ、その方向に回転し、指を離すとその位置に停止します。



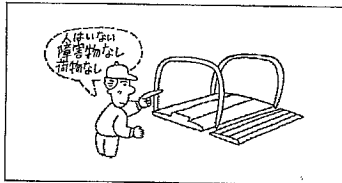
4 回転のときの注意

- ターンテーブルを回転させるときは、他の人を周囲1m以上のところに離しておいてください。
- 制限重量を超える車は、載せないでください。▶付録
- 車がターンテーブルの正規の位置に停車したことを確認してから、回転を始めてください。



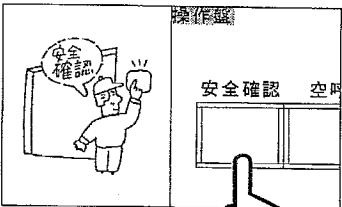
6 運転を終了するとき (終業点検)

この項では、毎日の運転が終了した後に、管理者の方にしていきたいこと (終業点検) をご説明します。



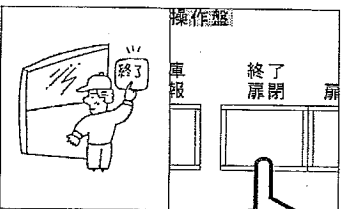
1. 駐車室内の点検

駐車室内に人がいないか、またゲージや歩行デッキの上に荷物や障害物がな
いかどうかを確認してください。



2. 安全確認ボタンを押す

室内の確認が済んだら、操作盤の「安全確認ボタン」を押してください。



3. ドアを閉める

操作盤の「終了/扉閉ボタン」を押して、駐車室のドアを閉めてください。



4. 電源スイッチを切る

操作盤下部の「制御電源スイッチ」を「切」にしてください。

7 事故や災害のとき

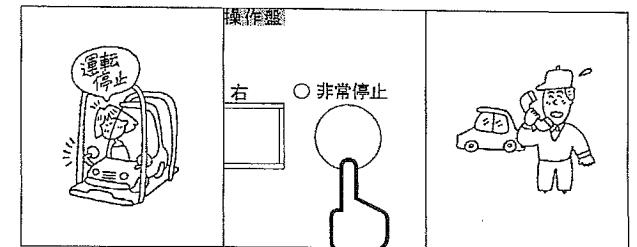


事故が起きたとき

物損事故の場合

バックミラーをぶつけて破損した、ドア保護柵やハンガーに接触したなどの物損事故が発生したら、直ちに設備の運転を停止して、必ず事故の状態を SMEC の最寄りの営業所にご連絡し、指示に従ってください。

●もしそのまま運転を続けたり、連絡なしに運転を再開されますと、重大な事故につながる恐れがあります。

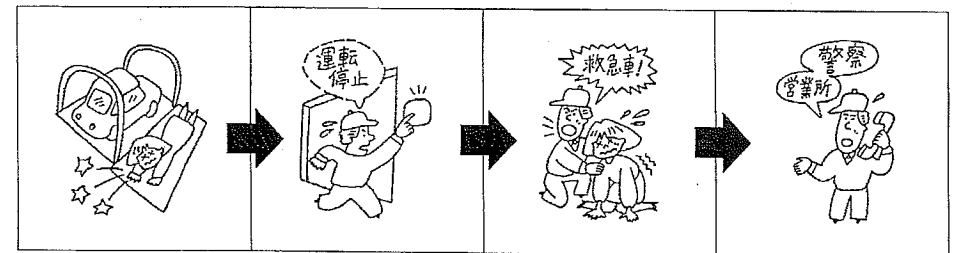


人身事故の場合

直ちに運転を停止して、まず、負傷者の救護措置をしてください。(必要に応じて救急車を呼んでください)

●必ず SMEC の最寄りの営業所に事故の状況を連絡してください。

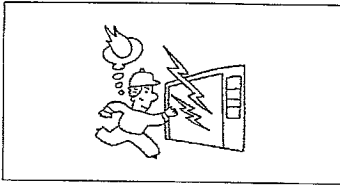
●救急車を呼ばない場合でも、警察署には報告してください。



火災が発生したとき

1 警報が鳴ったら確認する

火災警報が鳴ったら、管理者の方はすぐ火災の発生場所と状況を確認してください。

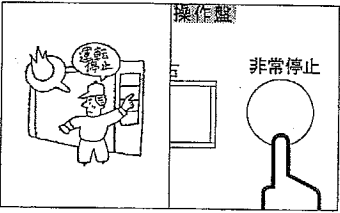


2 「非常停止ボタン」を押して運転を停止し避難させる

火災発生を確認したら、直ちに設備の運転を停止させ、もし駐車室内に人がいればすぐ避難させてください。

消火作業が始まる前に駐車室のドアは自動的に閉じます。

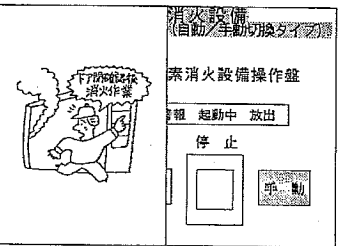
●駐車室のドアが閉じたことを必ず確認した後、消火作業に移ってください。



3 消火する

下記の要領で行ってください。

- 1 自動/手動切替タイプの場合は、操作箱の「手動ボタン」を押してください。
(手動専用タイプでは不要です)
- 2 操作箱下部の警報扉を開いてください。音声で退避警報が始まります。
- 3 赤いボタン(起動ボタン)を押してください。
 - アクリルカバーを強く押し破ってボタンを押してください。
 - 約20秒後に二酸化炭素ガスが放出されます。



●二酸化炭素ガス放出後の駐車室内のガス濃度は約30%となり、短時間で人を窒息させる危険があります。このため、本消火設備を操作させる前には駐車室内の人員が退避完了していることを必ず確認してから、「起動ボタン」を押すようにしてください。

緊急停止方法

万一、誤って「起動ボタン」を押してしまった場合、ガスが放出される前であれば「起動停止ボタン」を押してください。ガスの放出を停止できます。

自動の場合

夜間など無人になるときに、自動/手動切替タイプの場合、「自動」に切替えておきますと自動的に消火装置が作動して、消火作業を行います。
(手動専用タイプでは作動できません)

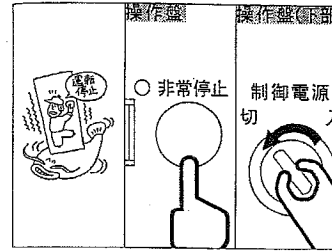
●詳しい操作方法は「消火設備説明書」をお調べください。

4 連絡する

消防署とSMECの最寄りの営業所へ必ずご連絡してください。

地震が起きたとき

- 1 直ちに運転を停止し、人を避難させてください。
 - 2 電源スイッチも切ってください。
 - 3 地震後は必ず始業点検をしてから、運転を再開してください。
- 震度4(歩いていて感じる、花瓶が倒れる程度)以上の場合は、SMECの最寄りの営業所にご連絡して点検を受けてください。



停電したとき

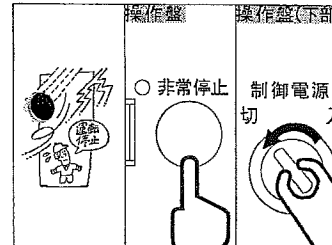
- 1 電源スイッチを切ってください。
- 2 ターンテーブルの上にいる車は、所定の操作により手回しできますから、SMECの最寄りの営業所にお問合わせください。



その他の災害のとき

台風、集中豪雨、落雷、地域により異常寒波などの場合は、次の処置をお願いいたします。

- 1 運転を停止し、人を避難させてください。
- 2 電源スイッチも切ってください。
- 3 運転を再開する前に、必ず始業点検をし、不審な点があればSMECの最寄りの営業所にご連絡ください。

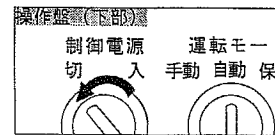
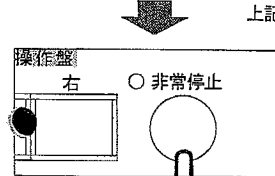
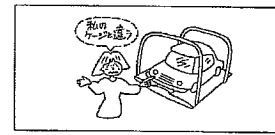
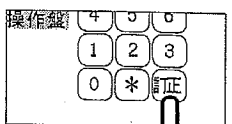
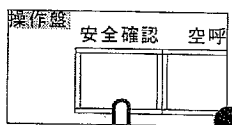
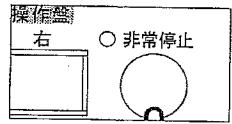
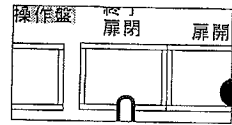


8 故障のとき

動かないとき

設備が動作しないときは、次の手順でチェックしてください。

- 1 電源スイッチは入っていますか？
 入っている → 切っている
 始業点検の後スイッチを「入」にしてください。
 - 2 運転管理スイッチは「専任」か「会員」か？
 「専任」 → 「会員」
 無人確認後ドアを開めてください。
 - 3 非常停止ボタンが押されていませんか？
 押していない → 押してある
 安全確認後ボタンをもう一度押してください。
 - 4 車両制限を越えていませんか？
 オーバーしていない → オーバーしている
 制限を越える車は入庫できません。
 - 5 安全確認ボタンを押しましたか？
 押した → まだ押していない
 ボタンを押してドアを閉めてください。
 - 6 非常扉が開いていませんか？
 閉じている → 開いている
 無人確認後ドアを開めてください。
 - 7 呼出番号を間違えていませんか？
 正しい → 間違っていた
 正しい番号を入れ直してください。
 - 8 過負荷ランプがついていませんか？
 消灯中 → 点灯している
 再度呼をかけると、ロータリは逆回転します。
 (上記操作でも点灯している場合は、テナントの方は管理者の方へ連絡してください)
- それでも動かないときは、SMECの最寄りの営業所にお電話ください。



その他の異常のとき



- 1 前ページのフローの操作を正しく行っても動かない場合
- 2 運転中に異常な音がある場合
- 3 正しい操作をしたにもかかわらずカーズの呼出しができない場合
- 4 呼出したカーズと異なるカーズが出入口に到着した場合

上記の場合は

1以外の場合、すぐ運転を停止して、駐車室から人を避難させてください。

電源スイッチも切ってください。

SMECの最寄りの営業所にご連絡して、係員の点検を受けてください。

9 テナント契約を結ぶとき

この項では、オーナーの方または管理者の方が、テナントと駐車場利用契約を締結するときの注意事項について、ご説明します。



車検証を確認する

利用契約を結ぶ車の車検証を見せてもらい、記載されている車種名、様式などにより、車の外形寸法および重量を確認します。



飛出パーツの確認をする

車高を改造した車、後にマフラーが突出した車など、入出庫できない車について、外観チェックをしてください。



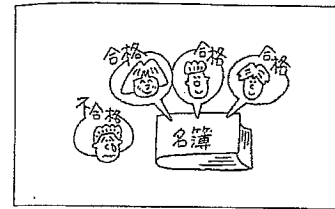
設備運転方法を説明する

この「取扱説明書」により、設備の運転方法をよく説明してください。



実技指導をする

説明書で説明するだけでなく、管理者の方が講師となって、実際に現場で設備を動かしながら指導してください。
そのあと、必ずテナントの方にも自分で運転操作をしていただいて、正しい運転ができる人だけを登録してください（このことは法令で義務付けられています）。



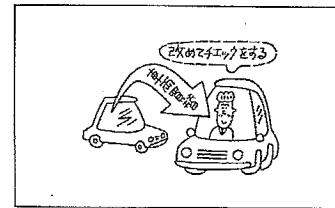
テナント名を登録する

実技テストに合格したテナントの方のみを、会員として名簿に登録してください。



許可証を発行する

テナントとして登録されたことをあらわす、許可証、会員証などを発行してください。形式は問いませんが、カード化するのもいい方法です。



車を買替えたとき

テナント（会員）の方が車両買替えをされた場合は、そのまま登録を継続せず、改めて制限寸法や重量の点検、外観チェックなどを実施してください。ただし、取扱説明と実技テストは不要です。

10 保守契約



本立体駐車設備は、専門技術者による「保守および定期点検」が必要な設備です。納入後3ヶ月は、弊社にて無償保守サービスを致しますが、その後は有償保守サービスとなりますので、駐車場専門保守会社と保守契約を締結ください。

保守契約のご相談は、新明和エンジニアリング株式会社の最寄りの営業所へご連絡ください。

付録

設備の仕様

形式	RW ₂ J-23/24TC	
基数	1基	
収容車台数	(入口側) 23台	(奥側) 24台
収容車	全長	5000 mm
	全幅	1800 mm (ドアミラー外寸 2000 mm)
	全高	1550 mm
	重量	1700 kg
出入口	幅	2950 mm
	高さ	1850 mm
	扉方式	4枚中央開きドア
循環速度	15 m/min	
操作方式	テンキー (暗証番号方式) (フリーロケーション)	
電動機	30 kW × 2	
制御方式	CFブレーキ	
旋回	角度	180°
	回転数	4.4 rpm
	電動機	0.75 kW
ターンテーブル	形式	ST-40A
	直径	4000 mm
	積載量	2000 kg
	回転数	1.5/1.8 rpm
電動機	0.75 kW	
電源	200/220 V 50/60 Hz	
消火装置	二酸化炭素 (CO ₂)	

当駐車場のオプション

車路管制

出庫時、出庫車が光電管を遮光しますと、道路灯の「青」が「赤」に変わります。一定時間後、道路灯は「青」に戻ります。
操作盤による道路灯の操作はできません。